

2015 年度第 2 回常任理事会：議事録

日 時：2015 年 7 月 26 日（日）14 時 00 分～18 時 00 分

場 所：日本体育大学中会議室

出 席 者：藤田主一理事長，谷口泰富副理事長
軽部幸浩，木村友昭，外島 裕，深澤
伸幸，古屋 健，蓮花一己，小林剛史
（心理学検定運営委員）

事 務 局：宇部弘子（事務局長），福場久美子（幹
事）（敬称略）

I 報告事項

1. 理事長挨拶（藤田主一理事長）
 - ・常任理事会の先生方へ感謝の言葉が述べられた。
2. 各委員会報告
 - 1) 機関誌編集委員会（深澤伸幸委員長）
 - ・『応用心理学研究』第 41 巻第 1 号は現在印刷中で，7 月末～8 月の初旬までには配布予定である。
 - ・電子投稿システム運用に要する費用の増額要請が国際文献社より提出されている。
 - 2) 企画委員会（代理：宇部弘子事務局長）
 - ・特になし。
 - 3) 広報委員会（軽部幸浩副委員長）
 - ・新しい委員について報告された。
 - ・第 82 回大会期間中に広報委員会と福村出版で編集会議を行う予定である。
 - ・『応用心理学のクロスロード』の発刊方法を検討中である。
 - 4) 「応用心理士」認定審査委員会（外島裕委員長）
 - ・応用心理士の申請が 3 件あった。
 - 5) 国際交流委員会（蓮花一己委員長）
 - ・『応用心理学研究』英文特集号は，14 件の申し込みがあった。
 - 6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（木村友昭副委員長）
 - ・「学会賞」（論文賞，奨励賞）についての投票状況，選考に至る経過の説明があった。
 - 7) 学会活性・研究支援委員会（古屋健委員長）
 - ・8 月に委員会を開く予定である。

- 8) 倫理委員会（谷口泰富委員長）
 - ・特になし。
 3. 日本心理学諸学会連合（谷口泰富担当理事）
 - ・昨年の国会では審議されなかった心理職の国家資格化について，今年度の通常国会または延長国会での審議と法案成立を期待するとの報告があった。
 - ・自民党本部において国家資格化に向けた議員連名協議会が開催され，法案の再提出が計画されているとの報告があった。
 4. 心理学検定について（小林剛史運営委員）
 - ・第 8 回心理学検定の暫定受験者数は 4,161 名であり，そのうち 3 領域は 2,134 名，6 領域は 1,422 名，8 領域は 605 名である。
 - ・現在のところ，2015 年度版『公式問題集』の実販売部数は 3,635 部，『基本キーワード』の実販売部数は 2,753 部である。
 5. 名誉会員候補者について（藤田主一理事長）
 - ・理事会，総会に井上孝代先生，森下高治先生を名誉会員候補者として推挙することが決定した。
 6. 齊藤勇記念出版賞について（藤田主一理事長）
 - ・「齊藤勇記念出版賞規程」を作成する必要性が述べられた。
 7. 2015 年第 82 回大会について（代理：宇部弘子事務局長）
 - ・大会日程等の説明があった。
 8. 今後の大会開催について（藤田主一理事長）
 - ・来年度以降の日本応用心理学会の年次大会開催予定会場が報告された。
 9. その他
 - ・特になし。
- ### II 審議事項
1. 2014 年度決算に関する件（宇部弘子事務局長）
 - ・2014 年度決算書（案）の報告があった。
 2. 2015 年度予算に関する件（宇部弘子事務局長）
 - ・2015 年度予算書（案）の報告があった。
 3. 学会賞選考に関する件（木村友昭副委員長）
 - ・理事・監事からの推薦に基づき，学会賞選考委員会による審議が行われ，2 論文を推薦することが決定した。
- 【学会賞】（論文賞）

掲載誌:『応用心理学研究』第40巻第3号

論文名:産業組織における安全文化の現状把握に関する検討—職位間におけるコミュニケーションギャップという指標を導入して—

著 者:余村朋樹・細田 聡・井上枝一郎

【学会賞】(奨励賞)

掲載誌:『応用心理学研究』第40巻第1号

論文名:住居を対象とする侵入窃盗への事件リンク分析

著 者:萩野谷俊平

4. 入会資格に関する件(小林剛史運営委員)

- ・日本応用心理学会の入会資格条件として、心理学検定(1級合格者)を利用する提案があった。

5. 新入会員審査および会員異動に関する件(宇部弘子事務局長)

- ・4名の院生会員継続申請があり、全員が承認された。

堀内由樹子, 林 恭平, 須賀絵美, 山下沙織(順不同, 敬称略)

- ・4名の一般会員会費補助申請があり、3名が承認された。

天日ほなみ, 山口 司, 渡辺伸子(順不同, 敬称略)

- ・2名の一般会員入会申請があり、全員が承認された。

神原 歩, 長沼貴美(順不同, 敬称略)

- ・2015年7月23日現在の会員数は、一般会員1,128名, 院生会員70名, 学生会員4名, 名誉会員33名, 終身会員41名, 賛助会員2名である。

※次回の常任理事会は、2015年9月6日(日)11時50分から東京未来大学にて開催する予定である。

2015年度理事会: 議事録

日 時: 2015年9月4日(金)14時30分~17時00分

場 所: 東京未来大学本館3階会議室1

出席者: 藤田主一理事長

市川優一郎, 井上孝代, 浮谷秀一, 臼井伸之介, 角山 剛, 上瀬由美子, 軽部幸浩, 川名好裕, 北川公路, 木村友昭,

桐生正幸, 沢宮容子, 大坊郁夫, 田中真介, 谷口淳一, 外島 裕, 内藤哲雄, 深澤伸幸, 古屋 健, 松浦常夫, 松田浩平, 向井希宏, 森下高治, 森脇保彦, 八木善彦, 山本勝則, 蓮花一己(以上28名)

小林剛史(心理学検定運営委員)

監 事: 加藤博己, 田之内厚三

名誉会員: 垣本由紀子, 長塚康弘, 山岡 淳

事務局: 宇部弘子(事務局長), 福場久美子(幹事)(敬称略)

I 理事長挨拶(藤田主一理事長)

- ・本理事会に出席された先生方および、本大会を開催するにあたりご尽力いただいた先生方へ感謝の言葉が述べられた。
- ・名誉会員の大島貞夫先生, 太田垣瑞一郎先生, 奥澤良雄先生, 駒崎 勉先生, 中村昭之先生, 常任理事であった藤森立男先生がご逝去され, 哀悼の意が捧げられた。

II 第82回大会委員長挨拶(角山剛大会委員長)

- ・明日から開催される第82回大会の概要と感謝の意が述べられた。

III 出席者自己紹介

- ・本理事会に出席された先生方の自己紹介が行われた。

IV 報告事項

1. 事業報告

(1) 会員の異動および会費納入状況(宇部弘子事務局長)

- ・2015年3月31日現在の会員数は1,257名で、年間で24名増加した。
- ・2015年7月23日現在の会員数は1,278名で、2015年8月28日現在の会費納入率が68%である。

(2) 委員会報告

1) 機関誌編集委員会(深澤伸幸委員長)

- ・査読部門にスポーツを加え、6部門から7部門に増えた。
- ・投稿本数の増加に伴い、紙面頁数を1号あたり80頁から100頁へ増やした。
- ・郵送方式から電子投稿方式への変更のため、規程の見直しが必要である。
- ・『応用心理学研究』第41巻第1号は本年7月

末までに会員各位に配布済みである。

- ・『応用心理学研究』第41巻2号は11月刊行予定である。
- 2) 企画委員会 (角山剛委員長)
 - ・第82回大会において、「学会研修会A」は井上孝代先生、「学会研修会B」は竹倫和先生に講演をいただく予定である。
 - ・11月下旬～12月上旬に「公開シンポジウム」の企画を検討中である。
- 3) 広報委員会 (田中真介委員長)
 - ・『応用心理学のクロスロード』第7号は発行済みであり、第8号は現在準備中である。
 - ・ホームページのサーバーを新しくする予定である。
- 4) 「応用心理士」認定審査委員会 (外島裕委員長)
 - ・2015年6月末の申請者は3名であり、認定審査の結果3名を合格者とした。
 - ・現在、「応用心理士」は約350名の登録がされている。
 - ・認定審査については、メール審査で行っている。
 - ・申請料・認定料の振り込み手数料は、ご本人に負担していただく。
 - ・申請書類一式をホームページに掲載し、ダウンロードをして申請の手続きを行う体制を考えている。
 - ・「応用心理士」活性化については、委員会で検討していく予定である。
- 5) 国際交流委員会 (蓮花一己委員長)
 - ・前回の国際応用心理学会に関する『応用心理学研究』(英文特集号)への投稿論文は7月を締切りとした。14件の投稿があり、現在審査中である。
 - ・投稿する際には参加証明書を添付するなどをアナウンスする必要がある。
 - ・来年3月の発行に向け、年内に査読を終了させたい。
 - ・2016年7月24日～29日に開催される第31回国際心理学会(ICP2016)において、日本交通心理学会が主催するシンポジウムに、日本応用心理学会が共催する企画を進めている。
- 6) 学会賞選考委員会 (優秀大会発表賞を含む)

(木村友昭副委員長)

- ・2015年7月4日に学会賞選考委員会における選考、2015年7月26日に常任理事における審査が行われた。
- 【学会賞】(論文賞)
 - 掲載誌:『応用心理学研究』第40巻第3号
 - 論文名:産業組織における安全文化の現状把握に関する検討—職位間におけるコミュニケーションギャップという指標を導入して—
 - 著者:余村朋樹・細田 聡・井上枝一郎
- 【学会賞】(奨励賞)
 - 掲載誌:『応用心理学研究』第40巻第1号
 - 論文名:住居を対象とする侵入窃盗への事件リンク分析
 - 著者:萩野谷俊平
- ・委員会における審査方針の説明があった。
- ・優秀大会発表賞は、今年から他薦のみとし、共同研究者による投票も不可とする。
- 7) 学会活性・研究支援委員会 (古屋健委員長)
 - ・前学会活性化委員会からのタスクリストの確認・点検を行っており、現在、検討中である。
- 8) 倫理委員会 (谷口泰富委員長)
 - ・特になし
- 2. 日本心理学諸学会連合報告 (谷口泰富担当理事)
 - ・「公認心理師法案」が文部科学委員会で可決された。
 - ・12月20日に日本心理学諸学会連合の理事会があるため、その報告を待つことにしたい。
 - ・第9期役員選挙が行われ、理事長以下10名の役員が決定した。
 - 理事長:子安増生
 - 副理事長:野島一彦, 大熊保彦
 - 常任理事:安藤清志, 小野瀬雅人, 沢宮容子, 下山晴彦, 柘植雅義, 富永良喜, 長谷川寿一
 - 監事:石隈利紀, 津田 彰 (敬称略)
- 3. 心理学検定報告 (小林剛史運営委員)
 - ・心理学検定の概要などについて説明があった。
 - ・第1回～第8回の申込者数は増加しており、第8回心理学検定の申込者総数は4,188名、受検者総数は3,668名であった。
 - ・2015年度版、『公式問題集』『基本キーワード』の書籍は発刊済みである。

4. 役員選挙結果報告 (宇部弘子事務局長)

- ・有権者から返信された有効投票数は 248 通 (投票率 23.9%) であり, 新理事候補 27 名および新監事候補 2 名が決定した。常任理事会において, 現常任理事による推薦理事候補 9 名が決められ, 全員の候補者から承諾が得られたため, 最終的に 36 名の新理事と 2 名の新監事が決定した。新理事 35 名 (1 名の欠員は藤森立男氏のご逝去による) による新常任理事選挙の結果, 9 名の新常任理事候補が決定した。新常任理事による理事長選挙の結果, 藤田主一氏が新理事長, 谷口泰富氏が新副理事長に決定した。

5. 2014 年度第 81 回大会報告 (向井希宏大会委員長)

- ・資料に基づき, 第 81 回大会の収支報告があった。

6. その他 (藤田主一理事長)

- ・『現代社会と応用心理学』の残り 3 巻を, 今年の 11 月~12 月の「公開シンポジウム」までに, 発刊に向けてご尽力いただきたい旨が述べられた。

V 審議事項

1. 2014 年度決算に関する件 (宇部弘子事務局長)

- ・資料に基づき, 2014 年度決算書の説明がされた。
- ・監事による監査報告があった。

2. 2015 年度予算に関する件 (宇部弘子事務局長)

- ・資料に基づき 2015 予算書 (案) の説明がされた。
- ・「英文特集号」が発行されるため, 100 万円を計上している。
- ・選挙関連費積立金として 20 万円, 「応用心理士」認定書発行のためのカードプリンター購入予算として 30 万円を計上している。

3. 入会資格に関する件 (藤田主一理事長)

- ・日本応用心理学会会則改訂について説明があった。「第 4 条 2 一般会員, 院生会員の入会資格は次のいずれかを満たす者とする。(1) 日本心理学諸学会連合が認定する心理学検定 1 級合格者で 22 歳以上の者 (2) 第 1 号に準じ常任理事会が認める者」の改訂案を総会に提出し, 可決され次第, 改訂作業にうつる。

4. 名誉会員推戴の件 (藤田主一理事長)

- ・井上孝代, 森下高治の 2 氏が名誉会員候補者として承認された。

5. 齊藤勇記念出版賞の件 (藤田主一理事長)

- ・「齊藤勇記念出版賞規程」(案) が承認された。

6. 2017 年度第 84 回大会委員長 (大会当番機関) に関する件 (藤田主一理事長)

- ・古屋健先生 (立正大学) に大会委員長を依頼することが提案され, 承認された。

VI 2016 年度第 83 回大会委員長挨拶 (山本勝則大会委員長)

- ・第 83 回大会は 9 月 3 日 (土), 4 日 (日) の両日に開催する予定であることが述べられた。

2015 年度総会: 議事録

日 時: 2015 年 9 月 5 日 (土) 12 時 30 分~13 時 30 分

場 所: 東京未来大学 B 棟 4 階 B421 室

I 理事長の挨拶 (藤田主一理事長)

- ・会員の先生方へ感謝の言葉が述べられた。
- ・名誉会員の大島貞夫先生, 太田垣瑞一郎先生, 奥澤良雄先生, 駒崎 勉先生, 中村昭之先生, 常任理事であった藤森立男先生がご逝去され, 哀悼の意が捧げられた。

II 第 82 回大会委員長挨拶 (角山剛大会委員長)

- ・大会に参加されている先生方へ感謝の言葉が述べられた。
- ・12 時現在の参加者数は 180 名である報告があった。

III 議長選出 (宇部弘子事務局長)

- ・角山 剛大会委員長が議長に選出された。

IV 報告事項

1. 事業報告

(1) 会員の異動および会費納入状況 (宇部弘子事務局長)

- ・2015 年 3 月 31 日現在の会員数は 1,257 名で, 年間増減は 24 名増加した。
- ・2015 年 7 月 23 日現在の会員数は 1,278 名である。
- ・2015 年 8 月 28 日現在の会費納入率は 68% である。

(2) 委員会報告

1) 機関誌編集委員会 (深澤伸幸委員長)

- ・今月 8 月末の電子投稿状況は 97 本を受付しており, 投稿本数の増加に伴い 1 号あたり 80 頁から 100 頁に増加して対応している。
- ・投稿を郵送方式から電子投稿に変更したため,

規程の見直しが必要である。

- ・第 41 巻第 2 号において、臨床心理学領域の特集を組んで 11 月刊行予定である。
 - ・理事改選に伴い 3 月中旬から一時停止していた査読作業は 6 月 22 日より再開している。
- 2) 企画委員会 (角山剛委員長)
- ・今季の構成メンバーは、角山 剛、川名好裕、大坊郁夫、谷口淳一 (敬称略) の 4 名で構成されている。
- 3) 広報委員会 (田中真介委員長)
- ・『応用心理学のクロスロード』第 7 号を発行済みで、第 8 号の発行は現在準備中である。
 - ・ホームページのサーバーを新しくする予定である。
- 4) 「応用心理士」認定審査委員会 (外島裕委員長)
- ・現在、応用心理士は 350 名ほどで、ホームページにて氏名を掲載している。
 - ・前期申請者は 3 名で、認定審査の結果 3 名が合格となった。
 - ・認定審査については、メール審査で行っている。
 - ・申請料・認定料の振り込み手数料は、ご本人に負担していただく。
 - ・申請書類一式をホームページに掲載し、ダウンロードをして申請の手続きを行う体制を準備中である。
- 5) 国際交流委員会 (蓮花一己委員長)
- ・前回の国際応用心理学会に関する『応用心理学研究』(英文特集号)への投稿論文は 7 月を締切りとした。14 件の投稿があり、現在審査中である。
 - ・2016 年 7 月 24 日～29 日に開催される第 31 回国際心理学会(ICP2016)において、日本交通心理学会が主催するシンポジウムに、日本応用心理学会が共催する企画を進めている。
- 6) 学会賞選考委員会 (優秀大会発表賞を含む) (木村友昭副委員長)
- 【学会賞】(論文賞)
- 掲載誌:『応用心理学研究』第 40 巻第 3 号
- 論文名:産業組織における安全文化の現状把握に関する検討—職位間におけるコミュニケーションギャップという指標を導入して—

著 者:余村朋樹・細田 聡・井上枝一郎

【学会賞】(奨励賞)

掲載誌:『応用心理学研究』第 40 巻第 1 号

論文名:住居を対象とする侵入窃盗への事件リンク分析

著 者:萩野谷俊平

- ・今年度より、大会優秀大会発表賞は他薦のみで投票をするようにお願いしたい。
- 7) 学会活性・研究支援委員会 (古屋健委員長 (代読:宇部弘子事務局長))
- ・本委員会は、昨年度の学会活性化委員会と若手研究者支援委員会の両者を統合した新しい委員会として設置された。
 - ・昨年度までの学会活性化委員会の活動の成果を継承し、実行可能な活性化策、支援策から提案・実現していく予定である。
 - ・現在は、前学会活性化委員会からのタスクリストの確認・点検を行っている。研究支援策については、諸学会の取り組み等の情報を収集している。
 - ・委員構成は、古屋 健、柿本敏克、笠置 遊、八木善彦 (敬称略) の 4 名である。
- 8) 倫理委員会 (谷口泰富委員長)
- ・特になし
2. 日本心理学諸学会連合報告 (谷口泰富担当理事)
- ・第 9 期役員選挙が行われ、理事長に子安増生、副理事長に野島一彦、大熊保彦、常任理事に安藤清志、小野瀬雅人、沢宮容子、柘植雅義、下山晴彦、富永良喜、長谷川寿一、監事に石隈利紀、津田 彰 (敬称略) に決定した。
 - ・2015 年 9 月 2 日の衆議院の文部科学委員会において「公認心理師法案」が提案され、委員会の全会一致で衆議院に提出することが決定した。
 - ・2015 年 9 月 3 日、衆議院において「公認心理師法案」が全会一致で通過し、参議院へ送られている。
3. 心理学検定報告 (小林剛史運営委員)
- ・心理学検定は学問的に信頼性のある検定制度であり、心理学の各領域から選出された代表の約 50 名の先生が問題の作成から評価まで関わっている。

- ・心理学検定の領域は A 領域, B 領域の 2 領域から成る。
 - ・第 8 回心理学検定の申込者総数は 4,188 名であった。
 - ・2015 年度版、『公式問題集』『基本キーワード』の書籍は発刊中である。
4. 役員選挙結果報告 (宇部弘子事務局長)
- ・有権者から返信された有効投票数は 248 通 (投票率 23.9%) であり, 新理事候補 27 名および新監事候補 2 名が決定した。常任理事会において, 現常任理事による推薦理事候補 9 名が決められ, 承諾が得られたので最終的に 36 名の新理事と 2 名の新監事が決定した。新理事 35 名による新常任理事選挙の結果, 9 名の新常任理事候補が決定した。新常任理事による理事長選挙の結果, 藤田主一氏が新理事長, 谷口泰富氏が副理事長に決定した。
5. 2014 年度第 81 回大会報告 (向井希宏大会委員長 (代読: 宮崎由樹))
- ・資料に基づき, 第 81 回大会の収支の説明があった。
6. その他 (藤田主一理事長)
- ・本大会の書籍コーナーにて『現代社会と応用心理学クロズアップ』の販売を行っている。4 巻が揃っている。

V 審議事項

1. 2014 年度決算に関する件 (宇部弘子事務局長)
 - ・資料に基づき, 2014 年度決算書の説明がされた。
 - ・監事による監査報告後, 会員から承認を得た。
2. 2015 年度予算に関する件 (宇部弘子事務局長)
 - ・資料に基づき 2015 予算書 (案) の説明がされ, 会員から承認を得た。
3. 入会資格に関する件 (藤田主一理事長)
 - ・「日本心理学諸学会連合が認定する心理学検定 1 級合格者で 22 歳以上の者」を加える案が述べられ, 会員から承認を得た。
4. 名誉会員推薦の件 (藤田主一理事長)
 - ・井上孝代, 森下高治の 2 氏が会員の承認を得て, 名誉会員に決定した。
5. 齊藤勇記念出版賞の件 (藤田主一理事長)
 - ・「齊藤勇記念出版賞規程」(案) が会員の承認を得た。

6. 2017 年度第 84 回大会 (大会当番機関) に関する件 (藤田主一理事長)
 - ・古屋健先生が大会委員長となり立正大学にて開催することが提案され, 承認された。
- VI 2017 年度第 84 回大会委員長挨拶 (古屋健大会委員長)
 - ・古屋健大会委員長が欠席のため, 挨拶はなかった。
- VII 議長退任
 - ・角山剛大会委員長が議長を退任した。
- VIII 名誉会員証の授与 (藤田主一理事長)
 - ・森下高治氏に名誉会員証が授与され, 森下氏から挨拶があった (井上孝代氏は欠席)。
- IX 学会賞の表彰 (藤田主一理事長)
 - ・余村朋樹・細田 聡・井上枝一郎氏の「論文賞」, 萩野谷俊平氏の「奨励賞」の表彰が行われ, 両氏から挨拶があった。
- VI 2016 年度第 83 回大会委員長挨拶 (山本勝則大会委員長)
 - ・山本勝則大会委員長より 2016 年 9 月 3 日 (土), 4 日 (日) に大会開催予定である旨の説明があった。

2015 年度 第 3 回常任理事会: 議事録

- 日 時: 2015 年 9 月 6 日 (日) 11 時 50 分~12 時 50 分
- 場 所: 東京未来大学本館 3 階会議室 1
- 出席者: 藤田主一理事長, 谷口泰富副理事長
角山 剛, 木村友昭, 田中真介, 外島裕, 深澤伸幸, 古屋 健, 蓮花一己 (五十音順)
小林剛史 (心理学検定運営委員)
- 事務局: 宇部弘子 (事務局長), 福場久美子 (幹事) (敬称略)

I 報告事項

1. 理事長挨拶 (藤田主一理事長)
 - ・本常任理事会に出席された先生方に感謝の言葉が述べられた。
2. 各委員会報告
 - 1) 機関誌編集委員会 (深澤伸幸委員長)
 - ・「シンポジウム」「特別講演」の内容を準備が整い次第, 『応用心理学研究』第 41 巻第 3 号もしくは, 第 42 巻第 1 号へ掲載する予定であ

る。

2) 企画委員会 (角山剛委員長)

- ・「公開シンポジウム」は、2015 年 11 月 21 日～12 月 13 日の土曜日か日曜日のいずれかに開催する予定である。

3) 広報委員会 (田中真介委員長)

- ・現在、今大会の写真撮影、大会取材を行っている。
- ・『応用心理学のクロスロード』の発行を、福村出版から別の出版社に移行する予定であり、出版社は検討中である。

4) 「応用心理士」認定審査委員会 (外島裕委員長)

- ・応用心理士の申請書類の保管場所について検討中である。

5) 国際交流委員会 (蓮花一己委員長)

- ・報告なし

6) 学会賞選考委員会 (優秀大会発表賞を含む)
(木村友昭副委員長)

- ・報告なし

7) 学会活性・研究支援委員会 (古屋健委員長)

- ・報告なし

8) 倫理委員会 (谷口泰富委員長)

- ・報告なし

3. 日本心理学諸学会連合について (谷口泰富担当理事)

- ・12 月 20 日に日本心理学諸学会連合の理事会があるので、その報告を待つ。

4. 心理学検定について (小林剛史運営委員)

- ・心理学検定のホームページ等で、日本応用心理学会の一般会員・院生会員の入会資格の改正を公開する。
- ・今年の受検者の増加分は、東京会場、団体校受検校によるものである。
- ・心理学系の学生だけではなく、その他の方の受検を増やすため検討中である。

5. 2015 年度第 82 回大会について (角山剛大会委員長)

- ・本日 12 時現在の参加者数について、予約者は 179 名で参加率は 89.5% であり、当日参加者は 67 名で、計 246 名の参加であった。

6. その他 (藤田主一理事長)

- ・『現代社会と応用心理学』の全 7 巻のうち、未発行の 3 巻について、担当者に公開シンポジウムまでに発刊するように伝えた。期限までに完成できなければ発刊を見送りとする。

II 審議事項

1. 齊藤勇記念出版賞の件 (藤田主一理事長)

- ・選考委員会を新たに立ち上げる。委員長に谷口泰富副理事長を決定した。

2. 新入会員審査および会員異動に関する件 (藤田主一理事長)

- ・会費納入率を上げることにについて、今後検討していきたい。

* 次回の常任理事会は、「公開シンポジウム」の日程に合わせて開催する。

日本応用心理学会 2014 年度決算書

(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)

収 入			支 出		
項 目	決算額	予算額	項 目	決算額	予算額
会費	6,554,000	6,540,000	大会補助費	700,000	700,000
過年度分 * (99 名)	594,000	420,000	学会賞	60,000	60,000
* 学生会員 2 名を含む			心理学諸学会連合会費	60,000	60,000
本年度分 ** (989 名)	5,960,000	6,120,000	シンポジウム・講演費謝金	190,000	200,000
** 学生会員 1 名含む			研修会講師謝金	20,000	60,000
賛助会費 (過年度分を含む)	30,000	20,000	若手国際大会参加補助	210,000	210,000
			英文特集号関係諸費	0	0
「応用心理士」関係	240,000	400,000	委員会活動費	570,891	950,000
審査料	60,000	100,000			
認定料	180,000	300,000	機関誌編集委員会	134,359	200,000
機関誌売り上げ	405,000	450,000	企画委員会	241,040	200,000
(定期購読・バックナンバー)			広報委員会	81,672	100,000
雑収入	405,633	250,000	「応用心理士」認定審査委員会	46,292	150,000
(クロスロード広告料, 利子, ク			国際交流委員会	11,600	100,000
ローズアップ印税, BN 販売, 著作			若手研究者支援委員会	0	50,000
権・使用料, 大会論文売上げ等)			学会賞選考委員会	27,928	70,000
前年度繰越金	2,553,130	2,553,130	学会活性化委員会	28,000	40,000
			倫理委員会	0	40,000
英文特集号作成積立金取崩金	0	0	印刷費	2,369,121	2,680,000
若手育成基金取崩金	0	210,000	機関誌	1,794,204	2,000,000
			広報関係	560,110	580,000
			その他	14,807	100,000
			通信費	584,121	680,000
			機関誌郵送費	381,549	410,000
			広報関係郵送費	183,904	170,000
			その他	18,668	100,000
			常任理事交通費	292,094	500,000
			事務局運営費	238,043	250,000
			事務局委託費	858,052	860,000
			英文特集号積立金	0	500,000
			選挙関連費用	478,173	600,000
			特別企画積立金	0	500,000
			機関誌電子投稿システム費	728,352	600,000
			予備費	0	1,013,130
			次年度繰越金	2,828,916	0
合 計	10,187,763	10,423,130	合 計	10,187,763	10,423,130

《別途会計》

1. 特別企画積立金

2013 年度繰越金	2,000,000
2013 年度利息	220
	2,000,220

2. 若手育成基金

2013 年度繰越金	2,041,152
2013 年度利息	285
2014 年度積立金	0
	2,041,437

3. 英文特集号作成積立金

2013 年度繰越金	501,562
2014 年度取崩金	0
	501,562

以上の通り相違ありません。

監事 田之内厚三 ㊟

監事 加藤 博己 ㊟

日本応用心理学会 2015 年度予算案

(2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)

収 入				支 出		
項 目	予算額		前年度予算額	項 目	予算額	前年度予算額
会費	8,449,000		6,540,000	第 82 回大会補助費	700,000	700,000
過年度分	480,000	80 名	420,000	学会賞	60,000	60,000
本年度分（一般会員）	7,600,000	950 名	6,120,000	心理学諸学会連合会費	60,000	60,000
本年度分（院生会員）	360,000	60 名		シンポジウム・講演費謝金	200,000	200,000
本年度分（学生会員）	9,000	3 名		研修会講師謝金	60,000	60,000
一般会員減免対象者分	60,000	10 名		国際大会補助	350,000	210,000
減額補填分（齊藤勇先生）	20,000	10 名		英文特集号関係諸費	1,000,000	0
賛助会費	20,000		20,000	委員会活動費	1,290,000	950,000
「応用心理士」関係	400,000		400,000	機関誌編集委員会	500,000	200,000
審査料	100,000	10 名	100,000	企画委員会	200,000	200,000
認定料	300,000		300,000	広報委員会	100,000	100,000
その他	0		0	「応用心理士」認定審査委員会	150,000	150,000
機関誌売り上げ	480,000		450,000	国際交流委員会	100,000	100,000
雑収入（クロスロード広告料・	500,000		250,000	学会活性・研究支援委員会	50,000	90,000
利子・クローズアップ印税）				学会賞選考委員会	100,000	70,000
				倫理委員会	40,000	40,000
				齊藤勇出版賞選考委員会	50,000	0
				印刷費	3,200,000	2,680,000
前年度繰越金	2,828,916		2,553,130	機関誌	2,500,000	2,000,000
英文特集号作成積立金取崩金	500,000		0	広報関係	600,000	580,000
				その他	100,000	100,000
特別企画積立金取崩金	0		0	通信費	800,000	680,000
若手育成基金取崩金	0		210,000	機関誌郵送費	500,000	410,000
				広報関係郵送費	200,000	170,000
				その他	100,000	100,000
				常任理事交通費	400,000	500,000
				事務局運営費	300,000	250,000
				事務局委託費	900,000	860,000
				選挙関連費用	0	600,000
				英文特集号積立金	500,000	500,000
				特別企画積立金	500,000	500,000
				選挙関連費用積立金	200,000	0
				若手育成基金積立金	500,000	0
				機関誌電子投稿システム費	840,000	600,000
				カード作製費	300,000	0
				予備費	926,916	1,013,130
				次年度繰越金	—	—
小 計	13,086,916		10,423,130	小 計	13,086,916	10,423,130

《別途会計》

1. 特別企画積立金

2014 年度繰越金	2,000,220
2015 年度積立金	500,000
	2,500,220

2. 若手育成基金

2014 年度繰越金	2,041,437
2015 年度取崩金	0
2015 年度積立金	500,000
	2,541,437

3. 英文特集号作成積立金

2014 年度繰越金	501,562
2015 年度取崩金	— 500,000
2015 年度積立金	500,000
	501,562

4. 選挙関連費用積立金

2015 年度積立金	200,000
	200,000

日本応用心理学会第 81 回大会の収支

(会期 2014 年 8 月 29 日 (理事会) 30 日～31 日 (大会))

収 入				支 出	
会費			1,161,500	学会事務委託費	1,759,084
(内訳)	単価	人数	金額 (円)	(内訳)	
正会員 (予約)	5,000	129	645,000	封筒代	115,000
正会員 (当日)	6,000	34	204,000	大会プログラム	349,250
正会員大学院生 (予約)	2,000	35	70,000	大会発表論文集	404,360
正会員大学院生 (当日)	3,000	6	18,000	大会通信一式	339,604
非会員 (予約)	6,000	13	78,000	プログラム・論文集発送	133,201
非会員 (当日)	7,000	18	126,000	大会 Web サイト運営	105,000
非会員大学院生 (予約)	3,000	1	3,000	費用徴収・口座管理手数料	78,872
非会員大学院生 (当日)	3,500	5	17,500	展示広告窓口業務	35,330
				業務委託費	50,000
発表費			670,000	その他雑費	35,030
(内訳)	単価	人数	金額 (円)	消費税	113,437
正会員・名誉会員	5,000	102	510,000	講師謝礼等	78,480
正会員大学院生	3,000	8	24,000		
非会員	10,000	13	130,000	理事会関係	328,412
非会員大学院生	6,000	1	6,000	(内訳)	
自主ワークショップ			5,000	理事懇親会	294,000
(内訳)	単価	人数	金額 (円)	理事会お茶代	4,412
正会員	5,000	1	5,000	理事懇親会会場バス代	30,000
大学院生					
論文集代			204,000	弁当代	227,500
(内訳)	単価	人数	金額 (円)	(総会・常任理事会・係員用)	
当日	6,000	34	204,000		
懇親会費			622,000	ポスターパネル代	204,000
(内訳)	単価	人数	金額 (円)	(内訳)	
正会員 (予約)	5,500	72	396,000	ポスター設置	124,800
正会員 (当日)	6,500	22	143,000	運搬費	43,200
大学院生 (予約)	4,000	14	56,000	撤去費	36,000
大学院生 (当日)	5,000	3	15,000		
同伴者	4,000	3	12,000	懇親会	701,452
研修会費			245,000		
(内訳)	単価	人数	金額 (円)	会場備品レンタル代	24,000
正会員 (予約)	500	31	15,500		
正会員 (当日)	1,000	9	9,000	学生アルバイト代	472,000
広告費 (13 社)			325,000		
学会本部補助			700,000	反省会会議費	137,594
理事会本部補助			100,000		
理事懇親会参加費			56,000	実行委員会運営費	157,978
学会誌バックナンバー売上			2,000		
合 計			4,090,500	合 計	4,090,500

2015 年 3 月 15 日 大会長 向井 希宏 ㊞